



ミュージアムのネットワークを考える  
東京・港区「みなとミュージアムズ」の事例から

せとうち美術館サミット 2011/10/22

# ミュゼ Musée 97

2011.8.25

## ミュージアムを「自分化」するための 博物館・美術館ジャーナル

### 創刊 1994年

### すてきなミュージアムショップ やグッズをもっと流行らせたい！ が始まり

### 利用者の視点を大切に



特集  
つながるミュージアム  
東日本大震災を超えて  
大阪市立自然史博物館  
兵庫県立人と自然の博物館  
アクアマリンふくしま ほか

八戸市埋蔵文化財センター  
是川縄文館オープン

「ウメサオタタオ展」を振り返る

<対談>  
悲願の「美術品補償制度」が始まる  
青柳正規氏×栗原祐司氏

# ミュージアムの活動や考えられていること

Journal  
ジャーナルポケット  
Pockets

アメリカ・アレナスさんにきく、日本での鑑賞教育

芝の家：親子で参加する感性ワークショップ・シリーズ アートをみて、話そう！



去る2月21・22日、文科省の講堂で「第4回美術鑑賞教育フォーラム 美術鑑賞教育の現状・課題・展望」(主催：科研美術鑑賞教育プロジェクト、美術による学び研究会)が開催された。このフォーラムは、科研「対話による意味生成的な美術鑑賞教育の開発」の報告会で、全国での美術館と学校での鑑賞教育についての取り組みの数々が発表された。保育者や美術教員、学芸員など約500人が集まり、事例発表や意見交換を行った。なお、昨年3月に告示された新しい指導要領には「美術館との連携」が加わり、「鑑賞」や「連携」について明記されている。関心の高まりは、いよいよ美術館と学校の連携の風景を変えていくものとなるようだ。

また、2日目の午後は、美術史家で対話による美術鑑賞をすすめてきたアメリカ・アレナスさんによる特別講演と、スライドを使ってフォーラム参加者全員と作品を鑑賞するギャラリートークのコーナーもあった。「ハイク、アネ」ととかく長くなりがち参加者の感想を俳句のように短くとユニークな表現でうながすなど、彼女の的確な受け答えと独特の話術がアートの世界を楽しくさせ、会場は盛り上がった。

ところで、アレナスさんが来日中の2月28日、彼女も初の試みという「子どもとおとなの混成グループによるギャラリートーク」が東京・港区芝の「芝の家」で開催された。「芝の家」は、そのすぐ近くにある慶應義塾大学と地元港区の連携協力によって、昨年10月にオープンした地域のコミュニティづくりのための場である。「昭和の地域力再発見事業拠点」という名前がしめすように懐かしい木造平屋の建物で、誰もがちょっとしたぞいてみようかなと思わせる雰囲気も漂わせている。

「芝の家：親子で参加する感性ワークショップ・シリーズ アートをみて、話そう！」では、幼児からお年寄りまでの7、8人が1つのグループになって4グループが5つの作品を鑑賞しあった。いったいどうなるのかという心配をよそに参加者たちは、世代の壁を越えてそれぞれに思いを語り、ほかの人の見方を聞き、うなずき、笑い、関心し、共感するという作品を通した鑑賞のコミュニケーションを体験した。会場には、木下晋の大作(103年の闘争)(2003年)をはじめ、浅見俊哉の床に置く写真《またたき》(2004年)、ピザの箱を使ったインスタレーション、手のひらに載せて鑑賞する抽象画など、

文化や技法の異なる5点の作品が展示された。

さて、このワークショップの準備の日、アレナスさんがインタビューに応じてくれた。

—来日はいつごろからで、その後日本の鑑賞教育はどのように変化したと感じますか？

1993年に一度来ましたが、コンスタントに日本に来るようになったのは1995年からです。「なぜ、これがアートなの？」(アメリカ・アレナス著・福のり子訳 淡交社)の発刊がそのころだったので。

その間の変化といえば、ますます多くの方や美術館が興味をもってとても実践的なことに取り組むようになってきていることです。レクチャーの参加者もプログラムに参加する人もとても多くなりました。学校でもたくさんの先生が実践を重ねてきていて、私がお会いするのは初めてでも、実は長らく実践してきたという方もいます。

それから、日本の大学でも取り組みが始まっています。京都造形芸術大学では、私の対話型鑑賞教育プログラム(ACOP = Art Communication Project)にしたがって5年ほど前から芸術関係の科目と

して美術鑑賞取り入れています。また、高知大学をはじめ多くの教育現場や美術館でMITEIを取り入れるようになりました。

—日本の美術教育、または鑑賞教育は他の国と比べてどのような特徴がありますか？

それは非常に答えにくい質問です。美術教育というものには、これが正しい方法という答えはありません。ですから、私としてはいろいろなところでやり続けていくしかないでしょう。(笑)

実は、英語でいうart appreciation(美術鑑賞)という言葉は西洋では使い古されたもので、学校教育や美術鑑賞教育とは違い、語感としてはちょっときどったようなエリート臭があります。また、ある国では美術教育が創作だけのところも、美術史などの座学的なもの、または鑑賞だけ、または全然やっていない学校もあります。年に1回美術館に行っておしまいということも多いいです。それでは何も起りようがないのですが……、いずれにしてもとても多様です。何が美術鑑賞かといわれても、困ってしまうくらい。

もちろん、美術鑑賞は受け手にとって

は貴重な体験となります。今、美術館はかなりイニシアティブをもってやっていますが、そういう意味では、今は日本はグッドポジションにあるといえます。美術館と学校がパートナーシップで取り組んだり、とくに最近では文科省の支援があります。非常にいい位置にあります。だんだん一つにまとまって体系化されつつあるという感じですが。

—これからの日本の美術教育や美術館に期待することは？

美術館の方、学校の教師、政府関係の方々にアートにはいろいろな鑑賞の仕方があることを理解してもらいたいと思います。なかでも、私が一番成果があると思う方法は、アートに介してディスカッションをすることです。それは単にインタラクティブな、対話による芸術鑑賞ということではありません。自分をとりまく「世界」を鑑賞することでもあり、思いを語るための言語力、コミュニケーションの力、思考力も育まれます。私たちは普段、何かを考えなければならぬ状況や、みんなで分かち合ったり、他の人はどう考えるかを推測したりと、さまざまな社会的プレッシャーにさらされていますから、そのトレーニングにもなります。

つまり、絵を見て楽しみながらいろいろな思考ができるのです。文化による違いを知る、教えるということではなく、さまざまな文化から生まれた異なるスタイルをたくさん見て考える。それも、目だけではなく、耳や鼻、いろんな感覚を使って、世界を感じる事が大切なのです。

①



木下晋「103年の闘争」とアメリカ・アレナスさん。1994年から98年までニューヨーク近代美術館(MoMA)で美術館教育部員として活動。96年「なぜ、これがアートなの？」(淡交社)を出版。香田市美術館、川村記念美術館、水戸芸術館現代美術センターで開催された同名の展覧会とともに、対話型鑑賞の先駆的試みとなる。2005年美術館と学校をつなぐ鑑賞教育プロジェクト「mitei」を立案し、上野行一・高知大学教授と共同で学校用教材「mitei」ティーチーズキット(全3巻、06年)を刊行。全国で対話による美術鑑賞の輪がひろがっている。

## 「秘密基地」としてよみがえった佐用町昆虫館

NPO 法人こどもとむしの会・兵庫県立人と自然の博物館  
八木 剛

兵庫県の西部、岡山県との県境近くに、2009年4月、佐用町昆虫館が開館した。敷地面積942平米、述べ床面積165平米、山の麓の谷間にたたずむ、小さな館である。37年間の歴史に幕を閉じた「兵庫県・千種川グリーンライン昆虫館」（兵庫県昆虫館）の建物を継承し、町立の施設として開館したものだ。建物の外観は以前とそんなに変わらないが、運営のしかたは大きく変化した。佐用町の人口は約2万人、小学生は1,000人ほど。小さな町の小さな昆虫館が生き残ったプロセスを紹介する。

## 見捨てられた昆虫館

1971年に開館した兵庫県昆虫館は、財政難・人材難・施設の老朽化を理由に、2008年3月をもって廃止されることになった。昆虫館は、健康増進を目的とした構想に基づいて設置され、教育委員会体育保健課が所管していた。距離の県当局は、管理運営を、事実上、元教員で植物研究者である内海功一前館長1人に依存していた。廃止前の数年間、県は、行革の一環として佐用町に昆虫館の管理運営を委託し、町が継承するなら施設を無償譲渡するとしていたが、町には人材もノウハウもなく、合併の後遺症で財政は厳しい。存続を求める住民の請願もあったが、議会はこれを否決し、廃止の受け入れを決定した。2007年秋のことである。昆虫館は、県にも町にも見捨てられ、静かに幕を下ろすしかない状態となっていた。

## よそ者が動かす

昆虫館廃止の報に接した竹田真木生・神戸大学大学院教授（昆虫学）が、館の存続に向けて動き出したのは、廃止の段取りがすべて整った、2007年11月下旬のことだった。

竹田「八木くん、何とかならないのかね。三重県立博物館で子供の時に大きな影響を受けたものの一人として、博物館はどんなスケールであれ大切にしたいものだと思う。できることがあれば何でもやるつもりだ。」

八木「時既に遅し、かもしれません。可能性があるとすれば、徹底的ボトムアップで、NPO 作ってシテカンで受けるしかないですね。でも先生、かなりの覚悟、いりませ。」

竹田「やろうじゃないか」  
昆虫館の廃止を惜しむ声は各方面からあったが、旗を振る人がいなかったのがある。竹田教授が先頭に立つことで、運動体の核ができた。

廃止決定を覆し、新しい昆虫館をつくるためには、説得力のあるプランづくり、仲間を募り、行政、議会に納得してもらい、地元の理解を得る必要がある。急ぎ、いろんなルートで町に接触し、提案書をつくって町に提出した。同年12月末のことである。平行して、昆虫の関係者、自然観察などの関係者に提案書を配布し、NPO 法人設立の発起人を募った。

翌2008年1月9日、庵蓋（あんどご）佐用町長と竹田教授との面談が実現した。この頃にはNPO 法人設立発起人は

60名近くになり、町長は竹田教授の提案を受け、「具体化に向け、町行政としても（NPO と）いっしょにやっていきたい」と述べ、急転直下、存続へ向けて、物事が動き出した。

## 虫に合わせた季節開館・子どもに合わせた休日開館

提案書では、機能面、施設面、運営面で、これまでの館と大きく変わることを強調した。まず、新しい昆虫館のターゲットを子どもたちに設定し、体験学習機能を前面に出すことにした。あわせて、コスト削減を考えた。廃止前の兵庫県昆虫館の年間予算は500万円程度だったが、方針転換による逆風の中で、これに近い予算はとてみ出できそうにない。そんな中で、我々は、魅力ある運営形態を提案しなければならなかった。

具体的なプランとして、第一に、開館日数をざっくり減らすことを提案した。まず、4月から10月の季節開館とし、昆虫と同じく「冬眠」することにした。冬眠するならば、これまでのガラス温室は無用のものとなる。温室は、冬期に昆虫のエサとなる植物の栽培に使われていたが、県の撤去費で撤去してもらい、広場とした。これで、ワークスペースを確保でき、温室の維持管理費用はゼロとなる。しかし、これまで30有余年にわたり、温室を維持してきた内海前館長の想いは複雑である。そのため撤去工事前に「がんばれ昆虫館セール」と称するバザーを開館し、温室で栽培されていた植物をお

割分けした。イベント開催には、地元自治会も大いに協力してくれ、何より重要な、地元との信頼関係を構築するのに役立った。

加えて、平日は閉館することを提案した。これにより、2009年の開館日数は年間70日となり、一般的な博物館と同じだった以前に比べ、ほぼ1/4となった。

このような変則的な開館では、年間を通して生きた昆虫を創育展示するのはまず不可能である。そこで、創育展示する生物を、週1回の世話で維持できる種に限定し、生体展示水槽を半減することにした。不要になった水槽は廃棄し、展示通路の壁を撤去し、館内部と外周展示通路を一体的な空間とし、これまで立ち入り禁止だったバックヤードを、来館者に開放することにした。そもそも、4月から10月の間は、何もしなくても敷地内にさまざまな昆虫がやってくる。漁港の市場のごとく、その場で見られた昆虫を連れて来て、閉館後に放してやればよい。

佐用町は、これらの提案を全面的に受け入れ、2008年10月、佐用町昆虫館条例を制定し、同時に施設は県から町へ無償譲渡された。NPO 法人こどもとむしの会は、2009年3月の町議会で指定管理者に選定され、指定管理料予算は、ほぼ予想通り、年間200万円弱となった。

## 「一日館長」が運営する秘密基地

館の展示もみんなが持ち寄って制作した。最後に残った問題は、日々の運営を、だれがやるかである。法人内部ではさまざまな意見が交わされ、地元自治会とも本音で意見交換した。しかし、春から秋まで、土・日・祝日だけ働いてくれる、即戦力の人材など、いるわけがなかった。つまり、自分たちがやるしかない。将来

的にはスタッフを雇用するとしても、まずは、自分たちの館を自分たち自身で知ることが、何より重要である。また、多くの会員が館運営を経験することは、今後の経営に必ず生きてくるだろう。そこで、「一日館長」として、正会員が交代で館に詰めることにした。一日館長やスタッフは「ボランティア」とし、旅費と日当を支給するが、賃金は支払わない。

佐用町昆虫館の「小ささ」と変則的な開館形態が、一日館長による運営を実現可能にした。しかし、多くの「ボランティア」がそうであるように、このシステムが笑顔で継続するためには、さまざまな困難がある。

困難を克服するためには、第一に、ミッションの共有が重要である。穴場的な小さな館、手づくりの館、このような特徴を共有するため、佐用町昆虫館のキャッチコピーは「こどもとむしの秘密基地」とした。みんなで作ってみんなで遊ぶ、来館者にとっても、スタッフにとっても、ちょっとわくわくする秘密基地になればいい。

第二に、経済的な負担の軽減である。NPO 法人こどもとむしの会の正会員会費は1万円/年で、もともと志の高い人が集まっている。一日館長やイベントスタッフには旅費と日当を支給するので、2、3回スタッフをやれば会費の元が取れる。また、平日の利用は自由である。別荘の共有のように、みんなの手で運営する館になればいい。

第三に、将来展望である。博物館は冬の時代だ。施設面、人材面で、構造的に高コストであり、行革の矢面に立たされる。博物館かくあるべし、も重要だが、新たな展開を模索してゆかなくては、社会からその存在が消えてなくなるかもしれない。冒頭の竹田教授の言葉を借りれば、

博物館はどんなスケールであれ、そこにあることこそが、重要なはずだ。「秘密基地」が「道の駅」くらいに増え、既存館とのネットワークができれば、虫好き、生き物好きの子どもたちにとって、すばらしいインフラとなればと思う。

大海原に漂い出した小さな昆虫館に、どんな荒波が待っているのか。今後注目いただきたい。

(やぎ・つよし)

KON-PASS (こんちゅうかんパスポート) をつくりました。



NPO 法人こどもとむしの会が、花王・コミュニティミュージアム・プログラム2008の助成を受けてつくりました。A6判33ページ。パスポートといえばスタンプ。集めるとなぜかうれしいです。そういえば、たいの博物館にスタンプありますよね。せっかくだからおすすめ施設のスタンプを集めて、Webで紹介してみよう、ということになりました。ぜひご覧ください。

<http://www.konchukan.net/kon-pass>

KON-PASS は、佐用町昆虫館の紹介を兼ねて地元小学校に配布しますが、残部は1冊200円でお分けします。



キャプションキャプションキャプションキャプション  
キャプションキャプションキャプションキャプション



キャプションキャプションキャプションキャプション  
キャプションキャプションキャプションキャプション



キャプションキャプションキャプションキャプション  
キャプションキャプションキャプションキャプション



キャプションキャプションキャプションキャプション  
キャプションキャプションキャプションキャプション



キャプションキャプションキャプションキャプション  
キャプションキャプションキャプションキャプション







平成7年11月 15万人以下になる

平成21年5月には20万人台を回復

外国人

平成22年1月1日現在21,826人が登録

東京23区中、4番目に外国人登録者数の多い区

# 港区のミュージアム



「みなとミュージアムズ スタンプラリーパスポート」より

行ってみたい博物館 美術館

場…場所 ☎…電話番号 🕒…利用時間  
休…休館日 💎…料金 🚉…最寄り駅・徒歩〇分

あきやまshotaroのしやうじんDeのあかん  
**秋山庄太郎写真芸術館**  
http://akiyama-shotaro.com

もとアトリエが展示室。まさに「こころの休み時間」  
 場 南青山 4-18-9 ☎ 03-3405-8578  
 🕒 10:30～17:30 (入館は17:00まで) 休 月曜～木曜 (夏季、年末年始、展示替え・館内整備のための休館あり) 💎 一般700円、高大学生500円、小中学生300円、65歳以上500円 ※展示内容により変更する場合あり 🚉 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅より7分

せんたんぱのあかん てびあ  
**先端技術館@TEPIA**  
http://www.tepia.jp

wakamaruと「こんにちば」。ハイテクノロジーが楽しめる  
 場 北青山 2-8-44 ☎ 03-5474-6143  
 🕒 10:00～18:00 (土・日・祝 17:00 まで) 休 月曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始 💎 無料  
 🚉 東京メトロ銀座線外苑前駅 3 出口より 5 分 (神宮球場となり)

おかもとたろうのあかん  
**岡本太郎記念館**  
http://www.taro-okamoto.or.jp/

「芸術は爆発だ!」パワーで元気になること間違いなし  
 場 南青山 6-1-19 ☎ 03-3406-0801  
 🕒 10:00～18:00 (入館は17:30 まで) 休 火曜 (祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始、保守点検日 💎 一般600円、小学生300円 🚉 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅より8分

ねづのあかん  
**根津美術館**  
http://www.nezu-muse.or.jp/

日本・東洋の古美術を最高の環境で。庭園もみごと  
 場 南青山 6-5-1 ☎ 03-3400-2536 🕒 10:00～17:00 (入館は16:30 まで) 休 月曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始、展示替期間 💎 特別展: 一般1,200円、高・大学生1,000円、コレクション展: 一般1,000円、高・大学生800円 🚉 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅A5出口 (階段)より8分・B4 出口 (階段とエスカレーター)より10分・B3 出口より10分

とらや  
**虎屋ギャラリー**  
http://www.toraya-group.co.jp/

美しく楽しく、奥深い和菓子の世界にひたる  
 場 赤坂 4-9-22 虎屋ビル 2 階 ☎ 03-3408-2402 (虎屋文庫)  
 🕒 10:00～17:30 休 年1～2 回の企画展時のみ開館 (会期中無休) 💎 無料 🚉 東京メトロ銀座線・丸ノ内線赤坂見附駅 A 出口より7分

いせはんのあかん べい  
**伊勢半本店 紅ミュージアム**  
http://www.isehan.co.jp

江戸時代から続く「紅」づくり。その技と文化にふれる  
 場 南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1F ☎ 03-5467-3735  
 🕒 11:00～19:00 休 月曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館) 💎 常設展 無料 🚉 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅 B1 出口より徒歩12分、ちいばす南青山七丁目停留所より30秒

フジフィルム スクエア  
**FUJIFILM SQUARE**  
http://fujifilmsquare.jp

懐かしいカメラもある「写真歴史博物館」や写真展  
 場 赤坂 9-7-3 (東京ミッドタウン) ☎ 03-6271-3350  
 🕒 10:00～19:00 休 年末年始 💎 無料 🚉 都営大江戸線六本木駅より直結、東京メトロ日比谷線六本木駅より徒歩5分、千代田線乃木坂駅より5分

トローワ・トローワ デザインサイト  
**21\_21 DESIGN SIGHT**  
http://www.2121designsight.jp/

デザインの視点から見ると日常は発見に満ちている  
 場 赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内 ☎ 03-3475-2121  
 🕒 11:00～20:00 (入館は19:30 まで) 休 火曜、年末年始、展示替期間 💎 一般1,000円、大学生800円、中・高校生500円、小学生以下無料 ※開館時間、休館日、入場料は、展覧会やイベントによって変更する場合がある 🚉 都営大江戸線・東京メトロ日比谷線六本木駅、千代田線乃木坂駅より5分

こくりんDeのあかん  
**国立新美術館**  
http://www.nact.jp/

巨大な空間の建築やさまざまな展覧会も魅力  
 場 六本木 7-22-2 ☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)  
 🕒 11:00～20:00 休 火曜 (祝日・休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始 💎 展覧会ごとに異なる 🚉 東京メトロ千代田線乃木坂駅青山霊園方面改札 6 出口 (美術館直結)、日比谷線六本木駅 4a 出口より5分、都営大江戸線六本木駅 7 出口より4分

もりDeのあかん  
**森美術館**  
http://www.mori.art.museum/

現代アートが身近になる。53階からの眺望もアート  
 場 六本木 6-10-1 六本木ヒルズタワー 53 階 ☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 🕒 月・水曜～日曜 10:00～22:00、火曜 10:00～17:00 🕒 展覧会の開催会期以外は休館している場合あり ※常設展示はなし 💎 一般1,500円、高校・大学生1,000円、4歳～中学生500円 🚉 東京メトロ日比谷線六本木駅コンコースにて直結、都営大江戸線六本木駅より4分、大江戸線・南北線麻布十番駅より5分

とうきょうとうりつちゅうおうとしよかん  
**東京都立中央図書館**  
http://www.library.metro.tokyo.jp

緑あふれる有栖川宮記念公園のなか。サービスも充実  
 場 南麻布 5-7-13 ☎ 03-3442-8451 🕒 月曜～金曜 10:00～21:00、土曜・日曜・祝日 10:00～17:30 🕒 館内整理日 (原則毎月第1木曜)、設備等の保守点検日 (毎月1回、不定期)、特別整理期間、年末年始 💎 無料 🚉 東京メトロ日比谷線広尾駅より8分、南北線・都営大江戸線麻布十番駅より20分

Deのあかん  
**サントリー美術館**  
http://suntory.jp/SMA/

伝統と現代が融合するユニークな視点の展覧会  
 場 赤坂 9-7-4 東京ミッドタウン・ギャラリー 3 階 ☎ 03-3479-8600  
 🕒 水曜～土曜 10:00～20:00、日曜・月曜・祝日 10:00～18:00  
 🕒 火曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、元日、展示替期間 💎 展覧会ごとに異なる、中学生以下無料 🚉 都営大江戸線六本木駅 8 出口より直結、東京メトロ日比谷線六本木駅より地下通路にて直結、千代田線乃木坂駅 3 出口より3分

おおくさのあかん  
**大倉集古館**  
http://www.shukokan.org

日本初の私立美術館。日本・東洋の古美術、近代絵画の優品  
 場 虎ノ門 2-10-3 ☎ 03-3583-0781 🕒 10:00～16:30 (入館は16:00 まで) 休 火月曜 (祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始、展示替期間 💎 一般800円、高大学生・65歳以上500円、小・中学生無料 🚉 東京メトロ南北線六本木一丁目駅より5分、日比谷線神谷町駅より7分、銀座線・南北線溜池山王駅より8分、銀座線虎ノ門駅より10分

せんおくはくDeのあかん ぶんかん  
**泉屋博古館分館**  
http://www.sen-oku.or.jp/tokyo/

住友家が蒐集した中国・日本の幅広い美術品  
 場 六本木 1-5-1 ☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 🕒 10:00～16:30 (入館は16:00 まで) 休 月曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替期間 💎 通常展: 一般520円、高・大学生310円、特別展: 一般800円、高・大学生500円、中学生以下無料 🚉 東京メトロ南北線六本木一丁目駅より5分、日比谷線神谷町駅より10分、銀座線溜池山王駅より10分

えんえいDeのあかん ほうそうはくDeのあかん  
**NHK 放送博物館**  
http://www.nhk.or.jp/museum/

世界初の放送専門の博物館。体験スタジオも人気  
 場 愛宕 2-1-1 ☎ 03-5400-6900 🕒 9:30～16:30 (7・8月は17:00 まで) 休 月曜 (祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始 💎 無料 🚉 東京メトロ日比谷線神谷町駅より徒歩8分、銀座線虎ノ門駅より13分、都営三田線御成門駅より10分

「みなとミュージアムズ ミュージアムマップ」より



**旧新橋停車場  
鉄道歴史展示室**  
<http://www.ejncf.or.jp>

再現された駅舎に隣接。日本の鉄道発祥地・汐留を知る

東新橋 1-5-3 ☎ 03-3572-1872

11:00 ~ 18:00 (入館は 17:45 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始、展示替期間

無料 JR 新橋駅銀座口より 5 分



**パナソニック電気  
汐留ミュージアム**  
<http://panasonic-denko.co.jp/corp/museum/>

所蔵する画家ジョルジュ・ルオーの作品展示と企画展

東新橋 1-5-4 パナソニック電気東京本社ビル 4 階

☎ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、夏期休業期間、年末年始、展示替・館内整理期間) 一般 500 円、高大学生 300 円、小中学生 200 円、シニア 400 円、障がい者手帳をお持ちの方は無料 (付き添いの方 1 名は無料) ※特別展期間中は別途料金 JR 新橋駅より 5 分、東京メトロ銀座線・都営浅草線新橋駅より 3 分、大江戸線汐留駅より 1 分



**アド・ミュージアム東京**  
<http://www.admt.jp/>

広告とマーケティングの資料館。数々の広告作品がズラリ

東新橋 1-8-2 カレッタ汐留 ☎ 03-6218-2500

11:00 ~ 18:30 (入館は 18:00 まで)、土日祝 11:00 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館) 無料 JR 東京メトロ銀座線新橋駅より 5 分、JR 新橋駅より 6 分、都営大江戸線汐留駅より 1 分



**菊池寛実記念 智美術館**  
<http://www.musee-tomo.or.jp>

魅惑の現代陶芸コレクション。斬新な展示方法も特徴

虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1 ☎ 03-5733-5131

11:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始、展示替期間 一般 1,300 円、大学生 800 円、小・中・高校生 500 円 JR 東京メトロ日比谷線神谷町駅 6 出口より 6 分、南北線六本木一丁目駅・溜池山王駅 13 出口より 8 分、銀座線虎ノ門駅 3 出口より 10 分



**味の素の文化センター**  
<http://www.syokubunka.or.jp/>

味の素とアミノ酸。時代ごとの食卓の展示も人気

高輪 3-13-65 味の素グループ高輪研修センター内

☎ 03-5488-7319 10:00~17:00 休 日 曜・祝日、年末年始、図書整理期間、その他臨時休館あり 入館無料 (図書貸出カード新規登録料 100 円) JR 都営浅草線高輪台駅より 3 分、JR 品川駅高輪口より 15 分



**東京海洋大学  
海洋科学部附属 水産資料館**  
[http://www.kaiyodai.ac.jp/museum/public\\_html/index.html](http://www.kaiyodai.ac.jp/museum/public_html/index.html)

鯨ギャラリーは大迫力。魚や真珠など幅広い水産資料

港南 4-5-7 東京海洋大学品川キャンパス内

☎ 03-5463-0430 10:00~16:00 (入館は 15:30 まで)

休 土 曜・日 曜・祝 日、年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 4 日)、資料整理日 (毎月第 2・4 木曜) 無料 JR 品川駅東口 (港南口) より 15 分、東京モノレール天王洲アイル駅より 10 分



**島山記念館**  
<http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

茶道具のコレクションが充実。2 階には茶室と茶庭もある

白金台 2-20-12 ☎ 03-3447-5787 11:00~20:00 ※夏季 (4~9 月) 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで)、冬季 (10~3 月) 10:00~16:30 (入館は 16:00 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始、展示替期間 一般 500 円、高・大学生 350 円、中学生以下無料 (ただし、保護者の同伴が必要です)

都営浅草線高輪台駅 A2 出口より 5 分、三田線・東京メトロ南北線白金台駅 2 出口より 12 分



**物流博物館**  
<http://www.lmuse.or.jp>

昔から現代までの「ものをはこぶ」に焦点。体験コーナーも人気

高輪 4-7-15 ☎ 03-3280-1616 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、毎月第 4 火曜日、祝日の翌日、年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 4 日) 大人 200 円、小・中学生 100 円、毎週土曜は小中学生無料 JR 京急品川駅高輪口より 7 分、都営浅草線高輪台駅より 7 分



**港区立港郷土資料館**  
<http://www.lib.city.minato.tokyo.jp/museum/>

港区の文化財を公開。「さわれる展示」コーナーもおすすめ

芝 5-28-4 港区立三田図書館 4 階 ☎ 03-3452-4966 9:00~17:00

休 日 曜・祝 日 (※ 7 月 21 日 ~ 8 月 31 日の日曜・祝日は閉館します)、毎月第 3 木曜日 (休日の場合は前日)、年末年始、特別整理期間 (6 月中旬 ~ 下旬 1 週間程度)、臨時休館 (特別展前後 1 週間程度と施設整備の場合) 無料 JR 田町駅より 5 分、都営三田線・浅草線三田駅 A3 出口より 2 分、ちいばす田町駅前停留所下車 2 分、田町駅西口停留所下車 3 分



**松岡美術館**  
<http://www.matsuoka-museum.jp>

古今東西の幅広いコレクションを開静な街で

白金台 5-12-6 ☎ 03-5449-0251 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始、展示替期間 一般 800 円、中・高・大学生 500 円、小学生以下無料、65 歳以上・障害者 700 円

東京メトロ南北線・都営三田線白金台駅より 6 分、JR 東急目黒線目黒駅より 15 分



**東京都庭園美術館**  
<http://www.teien-art-museum.ne.jp/index.html>

魅惑のアール・デコ様式の建物と緑あふれる庭園

白金台 5-21-9 ☎ 03-3443-0201 10:00~18:00 (入館は 17:30 まで)

休 毎月 24 水曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始、展覧会学術期間 (庭園への入場は可能) 美術館入館料: 展覧会ごとに異なる。庭園のみ: 一般 200 円、大学生 (短大・専門学校生含む) 160 円、中・高校生 - 65 歳以上 100 円、小学生以下無料 JR 日黒駅東口より徒歩 7 分、東急目黒線日黒駅より 7 分、都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅 1 出口より 6 分



**国立科学博物館  
附属自然教育園**  
<http://www.ins.kahaku.go.jp/>

都会とは思えない豊かな自然がたっぷり味わえる

白金台 5-21-5 ☎ 03-3441-7176 9 月 1 日 ~ 4 月 30 日 9:00~16:30 (入館は 16:00 まで)、5 月 1 日 ~ 8 月 31 日 9:00~17:00 (入館は 16:00 まで) 月曜 (祝日・振替休日の場合は閉館、翌日休館)、年末年始 一般・大学生 300 円、小中高生・65 歳以上無料 JR 目黒駅東口より目黒通り 7 分、東京メトロ南北線・三田線白金台駅 1 出口より目黒通り 4 分



**おすすめ  
SHOP&CAFE**

菊池寛実記念 智美術館  
レストラン「ヴォワ・ラクテ」  
昼は日本庭園の眺めがすばらしく、夜になると天井に輝く天の川のような光の演出があります。

サントリー美術館  
「shop×café」  
ショップとカフェがお隣どうし。和のなかにも現代のデザインセンスを取り入れたオリジナルグッズが美しく、プレゼントに最適。カフェは全沢の「加賀鮎」。「生麩あんみつ」や「ふやき餅汁弁当」などが味わえます。

根津美術館  
NEZUCAFE  
庭園のなかにあるカフェ。入ると大きなガラス壁越しに緑がすり注いでくるよう、おいしいコーヒーやスイーツでアート心は大満足です。

国立新美術館  
アトライブラリー  
誰でも閲覧できるアートの図書館。美術書や雑誌などの資料をゆっくりと楽しめる素敵な空間です。特に展覧会のカタログ類は充実。こんな形でアートと触れる時間もおすすめです。

森美術館  
六本木ヒルズ アート & デザインストア  
おもしろいアートグッズに出会えます。アートなパッケージのお菓子も多いので、ロベたなアート好きのお土産として重宝しています。

# 港区ミュージアムネットワーク

## 2つの流れから1つに。

平成17年9月 港区新郷土資料館基本構想検討委員会『港区新郷土資料館第2次基本構想報告書』

(4)情報交換・交流機能に関わる事業

「港区内にある多くのミュージアムなど文化施設とのネットワークをはかり、その拠点となります」

平成18年度 郷土資料館と交流のある区内博物館・美術館等と個別に設立へ向けての意見交換

6月「港区文化芸術振興条例」を施行

平成19年度 準備

地域振興課「港区文化ネットワーク」事業計画を開始！

美術館側から組織の一本化を求める声

文化財係では当初予定の設立日程を延期 地域振興課と協議

平成20年7月 地域振興課と図書・文化財課に

「港区ミュージアムネットワーク」を2課の連携事業

これを母体として地域振興課による各種事業も実施する

## 事業内容

### ① 情報交換

例：定例会の開催

### ② 情報発信

例：港区ミュージアムネットワークホームページの開設  
「港区ミュージアムネットワーク」情報誌の発行

### ③ 学芸員の交流

### ④ 共同・連携事業の企画立案、実施

地域振興課が行なう「みなとミュージアムズ」事業

高齢者支援課が行う「みなとほほえみ月間」と連携

「港区教育推進月間」にあわせ、児童・生徒が楽しく学び、体験する事業を計画・実施します。

### ⑤ 学校等への講師派遣

(模索中。しかし、地域振興課が「出前ミュージアム」を企画実施する)



### スタンプラリーで

## 「みなとミュージアムズ・オリジナルグッズ」をもらっちゃおう!

2010.2.1~3.15

＜スタンプラリーの参加のしかた＞

- ・このページはみなとミュージアムズのスタンプ専用台紙です。
- ・同じ館のスタンプがないようにします。(1館につき1個、押します)
- ・大人も参加できます。
- ・「みなとミュージアムズ・オリジナルグッズ」は数に限りがあります。

1回目



1



2



3

2回目



1



2



3

3回目

1

★★

2

3

★★

4回目

- ★★ 2館のスタンプでオリジナルノート  
2館目に訪れたミュージアムの人に見せてください。
- ★★ 4館のスタンプでオリジナルクリアファイル(2枚)  
4館目に訪れたミュージアムの人に見せてください。
- ★★ 5館のスタンプでオリジナル携帯ストラップ  
5館目に訪れたミュージアムの人に見せてください。



4



5

- ★ オリジナルノート 2/7
- ★ オリジナルクリアファイル 2/18
- ★ オリジナル携帯ストラップ 2/23



4



5

- ★ オリジナルノート 2/23
- ★ オリジナルクリアファイル
- ★ オリジナル携帯ストラップ

★★

★★

4

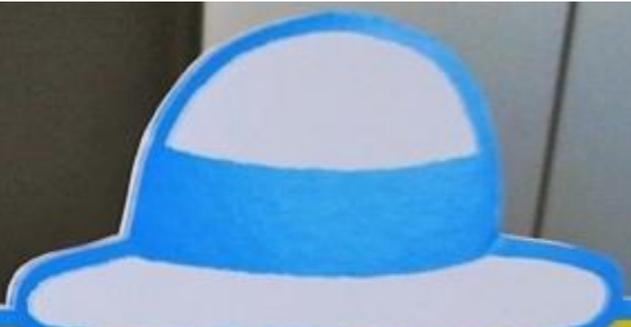
★★

5

- ★ オリジナルノート
- ★ オリジナルクリアファイル
- ★ オリジナル携帯ストラップ

スタンプのおいてある館は、以下の館です。  
(このパスポートに紹介文のある館です)

秋山庄太郎写真美術館、味の素食の文化センター、あんぜんミュージアム、伊勢半本店 紅ミュージアム、NHK 放送博物館、大倉集古館、新井薬師記念館



みなとミュージアム

スタンプラリー  
実施中

ボン!



スタンプは  
本スタンプラリーパンフレットの  
最後のページにあるよ



みなとミュージアム



みなとミュージアム  
スタンプラリー スタート







「親子ミュージアムめぐりバスツアー」より

港区にあるミュージアムにもっと親しみ、  
ミュージアムを資源にした新しいコミュニケーションの創出  
「みなとミュージアムづかい」を提案し、進める

ミュージアムにもっと親しみ、  
ミュージアムを資源にした新しいコミュニケーションの創出



ミュージアムネットワーク

内なる磨き

利用者にとって

「ミュージアムづかい」を提案し、進める

ご清聴、ありがとうございました。